

酒田・飽海 水稲直播情報

No.2 莖数確保対策号
令和8年5月21日 発行

酒田農業技術普及課
酒田市若浜町 1-40
TEL: 0234-22-6521
FAX: 0234-22-6522

出芽は順調！水管理で分けつ促進、除草剤散布

5/21 現在、当課で調査している鉄コーティング湛水直播圃場、乾田V溝直播圃場の状況は写真の通りです。苗立ち状況に応じて、適切な水管理により目標莖数の早期確保に努めましょう。出芽を確認したら、分けつ促進とワキ対策を兼ねた水管理を行い、タイミングを逃さずに除草剤を散布しましょう。

<鉄コーティング湛水直播圃場>



稲 葉数 1.0 葉

<乾田V溝直播栽培圃場>



稲 葉数 1.3~1.5 葉

1. 「湛水直播栽培」の生育診断・対応技術

① 苗立ち数の確認

苗立ち数が目標に達しているかを調査しましょう(表1)。圃場の水口側と水尻側など複数の地点を調査し、全体の苗立ち数を判断しましょう。

苗立ち数が 80 本/m²未満の場合は、3 葉期に窒素成分 1kg/10a 程度の追肥を行います。

表1 播種方式別の目標苗立ち数

目標 苗立ち数	播種 方式	苗立ち数の目安	
100~120 本/m ²	条播	1m 当たり 30 本以上	
	点播	60 株/坪	6 本/株程度
		70 株/坪	5 本/株程度

② その後の水管理

出芽・苗立ちを確認したら、水深 3 cm 程度の浅水管理（日中浅水、夜間かんがい）を行い、昼夜の温度較差を維持して分けつの発生を促進します。

今年は、5月から気温が平年よりも高く、田ワキが強くなるリスクが高くなっています。水交換や夜間落水、田干しなどを田ワキの程度に応じて実施しましょう。

特に、一発処理除草剤の散布前には、田ワキを抑えるために、一度水交換をしましょう。

2. 「乾田直播栽培」の生育診断・対応技術

① 苗立ち数の確認

乾田直播の目標苗立ち数は120~150本/m² (20cm間隔のV溝の場合は1mに24~30本)

です。乾粃 8kg/10a 播種の場合で苗立ち率が50~60%の時、目標苗立ち数となります。目標苗立ち数に届かず、窒素切れが懸念される場合には、硫安等の速効性肥料を窒素成分で1kgN/10a 施用します。また、漏水により除草剤の効果が安定しなかったり、稲に薬害が出たりなどの問題が起きることがあるため、漏水対策も併せて行いましょう。

② 入水前の除草剤の使用

使用する薬剤によって、有効な草種、稲や雑草の適用葉齢が異なるため(表2)、**ノビエ等の葉齢、薬剤のラベルをよく確認して使用しましょう。**また、薬液の飛散(ドリフト)による周辺作物への影響にも十分注意しましょう。

表2 乾田直播で【入水前に】使用できる主な除草剤

除草剤名 (使用回数)	適用雑草名	10a 当たり薬量 (散布液量)	使用時期	使用方法	留意点
クリンチャー EW (2回以内)	一年生イネ 科雑草	100ml/10a (70~100ℓ/10a)	播種後10日 ~ノビエ5葉 期(但し、収 穫30日前ま で)	雑草茎葉 散布全面散 布	<ul style="list-style-type: none"> ・水70~100ℓに展着剤を加用し、本剤をよく溶かし、噴霧器等でノビエの茎葉によく付着するように散布する。 ・周辺にトウモロコシ、ソルゴー等のイネ科作物やキャベツがある場合は飛散に注意する。 ・発生中のノビエのみに有効である。
クリンチャー バスME液剤 (2回以内)	一年生雑 草、マツハイ、 ホタルイ、ウリカ ワ、ミスガヤツ リ、ヘラオモダカ	1000ml/10a (70~100ℓ/10a)	播種後10日 ~ノビエ5葉 期(但し、収 穫50日前ま で)	乾田・落水 状態で雑 草茎葉散 布または 全面散布	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ5葉期以前は、薬害の恐れがあるので注意する。 ・展着剤は加用しない。 ・散布後少なくとも3日間は入水しない。 ・周辺に他作物がある場合は飛散に注意する。
ノミー液剤 (1回以内)	一年生雑草	100~200ml/10a (100ℓ/10a)	播種後10日 ~ノビエ5葉 期(但し、収 穫60日前ま で)	乾田・落水 状態で雑 草茎葉散 布または 全面散布	<ul style="list-style-type: none"> ・展着剤は加用しない。 ・散布後6時間以内に降雨があると効果が低下するので、晴天時に散布する。 ・入水前の処理とあわせて使用回数1回
トドメMF乳剤 (2回以内)	ノビエ	200ml/10a (75~100ℓ/10a)	播種後10日 ~ノビエ6葉 期(但し、収 穫50日前ま で)	雑草茎葉 散布全面散 布	<ul style="list-style-type: none"> ・落水散布またはごく浅く湛水して散布する。 ・ノビエにのみ有効であるので、体系処理として後次発生ノビエ対策に使用する。

③ その後の管理

入水後、乾田直播に登録のある一発除草剤を散布します。その後、残草がみられる場合は、残存雑草除草剤の使用を検討しましょう。

STOP! 農作業事故!

これから暑くなります! 水分、休息をしっかりととりましょう!



農薬は適正に使用しましょう!

★農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!
★生産の履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除器具の洗浄を徹底!